



この映画の話が来て、台本を読んだ段階で”やりたいな”と思いました。話がとてもシンプルなので。山に登ることのつらさとかはまったくイメージになかったんです。

山に入ってから僕としては楽しかった。頂上に登る過程で、ふとした瞬間の雲の形や、光の射し方が素晴らしかった。一回、雪山を登っているときにダイヤモンドダストが見えたんですよ。

撮影はつらい時もありましたね。小道具も全部自分で背負ったし。それに、僕の小道具に無駄に重くて長い望遠鏡があったんですよ。

撮影中、山に登っているときならではの感覚があったように思います。僕の役の「生田 信」としてなのか、僕の気持ちとしてなのか。それは、小島 烏水が測量隊の皆にビスケットを勧めるシーンで、本当は受け取るはずだったんですけど、僕は受け取らなかった。

測量隊の中でも、信はとくに山岳会への対抗意識がずっとあった。その意識が変化していったということを表すのに、ビスケットを受け取るというのは、あまりにもわかりやす過ぎるんじゃないかと思った。

そういえば、僕、シーンで使う手旗のことすっかり忘れていたんですよ（笑）。撮影の前日、香川さんに「練習したのか」と聞かれて、えっ!?! そうだったんだと。それで焦って、夜の真っ暗な中、頭にヘッドライトをつけて、一人で練習しました。トイレに起きた人は不気味がっていましたね。

これまでロケでどんな地方に行ったとしても、たいてい自分の時間はあるんですが、今回そういうのが全然ない環境でした。でも人とちゃんと向き合ってパワーをもらえて、よかったかなあと。夜は皆でワイワイやって、蟹江君がいろいろな曲を弾いて歌ってくれたり、浅野くんもつくった曲を歌ったり、その感じが、すごく幸せでしたね。

山では木村監督といろいろ話しましたが、もっとやりたいことがあるとおっしゃっていましたね。次は砂漠だ!とか、南極だ!とか。“苛酷な環境が好きなんだな”と思って聞いていましたね（笑）。

松田 龍平 まつだりゅうへい (生田 信 役)

1983年東京都生まれ。99年「御法度」で俳優デビュー。ブルーリボン賞など新人賞を総なめにした。映画 07年「悪夢探偵」09年「誰も守ってくれない」、舞台「メカロックオペラR2 C2」、ドラマ「天地人」に出演。7月より主演映画「蟹工船」が公開。